

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った手術の際に記録されているデータを使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保存されているデータを利用することをご了解いただけない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】 外鼻部腫瘍切除時の再建方法と術後変形に関する実態調査

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院形成外科

【研究責任者】 戸澤麻美（形成外科 助教）

【研究代表者】 戸澤麻美（形成外科 助教）

【研究の目的】

鼻部腫瘍切除を受けられた患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、治療方法や有効性について評価する研究を行うことといたしました。この研究は鼻部の腫瘍切除時の再建方法についての有効な手術方法の検討を目的としたものであり、今後の診療にも役立つことができると考えています。

【研究の方法】

（対象となる患者さん）

2009年1月から各施設の倫理委員会承認前（愛媛大学は2019年7月22日）に愛媛大学医学部附属病院や、共同研究施設を受診された方のうち鼻部の腫瘍切除と再建を受けられた患者さん

（利用するカルテ情報）

性別、年齢、術前診断、抗凝固剤内服の有無、腫瘍の大きさ、腫瘍の所在、切除後の欠損の大きさ、再建方法、採皮部位、術後病理診断、術前の写真、術後半年写真、術後1年の写真

【共同研究について】

この研究は、他の病院や研究施設と共同で行っています。

対象となる患者さんのデータは、匿名化されて、メールまたは郵便にて愛媛大学医学部附属病院に送られます。多くの情報を解析することで、医学・医療の発展に役立つ成果が得られることが期待されます。

**【個人情報の取り扱い】**

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。術前後の写真では、評価に必要な部分を切り取り、目が含まれる場合は隠すなどして評価に使用します。個人が特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<資料・情報の管理責任者> 愛媛大学医学部附属病院 戸澤麻美

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

**【お問い合わせ先】**

愛媛大学医学部附属病院形成外科 戸澤麻美  
〒791-0295 愛媛県東温市志津川  
Tel: 089-960-5350